

令和3年度茨城県土木部公共事業等評価委員会 議事要旨

1 日 時 令和4年1月17日（水）10時00分～12時00分

2 場 所 茨城県庁舎 20階 土木部会議室

3 出席者

委 員：山田稔委員長、岡本直久副委員長、横木裕宗委員、

吉田友紀子委員、木内敏之委員、浜中本子委員

※欠席 大谷直子委員

説明者：道路建設課長、技佐兼課長補佐（技術総括）、課員4名

事務局：監理課企画監、課員3名

4 議事要旨

(1) 「茨城県土木部公共事業等評価実施要綱」及び「茨城県土木部公共事業等
評価委員会設置要項」について

→事務局から説明を行い、委員からの意見は特になかった。

(2) 役員選出

委員長：山田委員

副委員長：岡本委員

※委員互選により決定

(3) 令和3年度公共事業評価対象事業について

質疑における発言等			
発言者	発言要旨	答弁者	発言要旨
【整理番号1】 地方道路整備事業 国道245号日立港区北拡幅			
A委員	<p>便益の算出は、他の整備区間を含むものか。</p> <p>また、擁壁工事は最初から見込まなかったのか。</p> <p>一度予算を組んだ以上は、予算内で収まるように事業を実施する努力も必要。事前にわかることはしっかり見込んでおくように。</p>	道路建設課	<p>便益は当該区間の整備による効果を算出したもの。</p> <p>擁壁の設計は、事業着手時は概略設計のため、了解を得た関係者の認識が十分では無かったと考えられ、詳細な設計時の調整で変更が必要となった。</p>
B委員	<p>擁壁の設計にあたり、津波に対する設計は如何か。</p>	道路建設課	<p>東日本大震災クラスの津波を想定して設計している。</p>
C委員	<p>日立市内は工場の撤退や人口減少などの課題もある。交通対策を総合的に考えるべきと思うが、道路以外の対策も考えられるか。</p>	道路建設課	<p>日立市内では、BRTを活用した交通政策などがある。</p>
D委員	<p>事故便益のマイナスもあるが、未整備の(久慈川)橋梁部分などはどのように見込んでいるのか。</p>	道路建設課	<p>久慈川の橋梁部分は、事業に着手していることから、近い将来に完成するものとして便益を算出している。</p>
A委員	<p>補助率の55%とは、今回の増額分も対象となるのか。</p>	道路建設課	<p>増額分についても、国の補助金の対象となる。</p>
E委員	<p>将来の全体ネットワークを示した方が事業の必要性は理解されるのではないか。</p> <p>また、今回懸念した補償案件についても、相手方の損失額をきちんと示してもらえれば、相手方へ補償を行った方が、施工方法の変更等を行うよりも安くなる可能性もあったのではないか。</p>	道路建設課	<p>今後の課題として研究していきたい。</p> <p>今回の補償については、環境への影響などの価値換算が難しかったことから、今後、そのような評価手法についても勉強していく。</p>

【整理番号2】地方道路整備事業 主要地方道 筑西三和線			
C委員	事業着手時の全体事業費の見積もりは誰が行うのか。	道路建設課	<p>コンサルタントへの委託による概算額の算出を参考に設定していることが一般的。</p> <p>今回の路線において見込みが甘かったことは、今後の他事業の当初計画にしっかり反映できるように心がけていく。</p>
A委員	事業費の増額となった要因毎の内訳は。	道路建設課	<p>湛水被害低減工法<small>たんすい</small>の追加に約10億円、軟弱地盤対策工の増加により約18億円、工事用盛土材の対応に約6億円、用地補償費の算定により約2億円の増により、合計約36億円の増となっている。</p>
【整理番号3】地方道路整備事業 主要地方道 常陸那珂港山方線			
C委員	<p>南酒出の交差点は、狭隘<small>きょうあい</small>にもかかわらず那珂インターチェンジからの抜け道となる道路との交差となっており、事故も多発している。</p> <p>道路の整備が必要な地域である。</p>	道路建設課	ご意見を参考にさせていただきます。
A委員	農地整備との調整があるとのことなので、農業や地元の関係者なども協議会に入ってもらいなど、情報共有や事業の理解を得るための手法を考えてはどうか。	道路建設課	協議会には直接農業関係者はいないが、市職員が入っているため、地元調整等においては協力してもらっている。
B委員	港側へ向かう道路の計画はどのようなになっているか。	道路建設課	<p>国道6号から国道245号の区間は設計を進めている。</p> <p>国道6号から国道349号の区間はルート検討中。</p>

B 委員	久慈川が近いが、水田の水 路計画及び浸水対策は検討し ているか。	道路建設課	これから設計を行うなか で、気をつけながら検討して いく。
E 委員	海と山を繋ぐといったこの ような道路整備は、観光の経 済効果の点からも是非推進す べき。	道路建設課	ご意見を参考にさせていた だく。
【整理番号4】 地方道路整備事業 主要地方道 水戸那珂湊線			
A 委員	なぜこの事業区間のみ自転 車道を海側の整備としたの か。	道路建設課	海に面した区間であり、上 下線どちらの自転車利用者 も、より海が見える位置を走 れるよう設計した。
E 委員	整備済み区間を見ると、夜 は暗いのではないかと思われ る。足元だけでも照らすなど 配慮があっても良いのではな いか。 また、このような整備は観 光の効果をもっと主張できれ ば、事業の有効性の理解がよ り進むと考える。評価の手法 を検討してほしい。	道路建設課	連続照明などの整備は難し いことから、まずは反射板の 設置など対応を考えていく。 整備効果の主張についても勉 強していく。
B 委員	自転車道の安全対策に関す る計画について全体像はどの ように考えているのか。 トラックや自転車ユーザー に対して、トータルデザイン を分かりやすく情報発信して いくべき。	道路建設課	茨城県の自転車ネットワー クでは、4つのルートを想定 している。 追加ルートの要望などもあ り、今後どのような利用者層 をターゲットとするかも含め 自転車活用の推進を計画して いく。
F 委員	自転車道が片側に切り替わ る箇所にポケットパークのよ うな施設があると利用者も分 かりやすくなるのではない か。	道路建設課	ご意見を参考にさせていた だく。

D委員	トイレの配置位置なども意識しながら整備を行うと、より良い整備となるのではないか。	道路建設課	ご意見を参考にさせていただく。
-----	--	-------	-----------------